

2022年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「総合型選抜入学試験1期」

入試問題

試験科目：「小論文」

日程：2021年10月23日(土)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

芸術 学部 芸術 学科 デザイン 領域

対象コース：（先端メディア表現、文芸・ライティングコースを除く）

※美術領域、デザイン領域で1種類の問題冊子となります。

[課題]

あなたが日常的に感じている不自由な事柄をひとつ挙げ、それをユーモラスに捉えなおすことで、どのような価値を提示することができるか、800文字以内で論じなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

アイデアを発想する際に、対象となる課題のネガティブな面をポジティブに捉えなおすことで、価値転換をはかる方法があります。それに関するデザインの基礎的な観察力、発想力を問う問題です。

2022 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「総合型選抜入学試験 1 期」

入試問題提出様式

試験科目：「小論文」

日 程：2021 年 10 月 23 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術 学部 芸術 学科 デザイン 領域

対象コース： 先端メディア表現コース

※音楽領域、舞台芸術領域、子ども学科で 1 種類の問題冊子となります。

※美術領域、デザイン領域で 1 種類の問題冊子となります。

[課題]

この 1 年半、新型コロナウイルスの影響によって、多くの学校で対面授業が困難な状況となり、オンラインによる授業が行われてきました。

そのためリアルなコミュニケーションが希薄となり、クラス内の繋がりや学びを深めることが難しくなりました。

1. この期間の授業であなたが気づいたことや問題点。
2. 授業を改善するための新たな方法や教材の工夫など。

この 2 点をふまえて記述しなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

問題の意味が理解されているか

身の回りの環境の変化をどのように受け止めているのか

こうした状況から、将来に向けてどのような解決策があるか

などを能動的に考えることができるか

を解答から読み取ることを意図しています。

2022 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「総合型選抜入学試験 1 期」

入試問題提出様式

試験科目：「小論文」

日 程：2021 年 10 月 23 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術 学部 芸術 学科 デザイン 領域

対象コース：文芸・ライティングコース

※音楽領域、舞台芸術領域、子ども学科で 1 種類の問題冊子となります。

※美術領域、デザイン領域で 1 種類の問題冊子となります。

【課題】

作家の小川洋子は『物語の役割』のなかで、「誰でも生きている限りは物語を必要としている」と述べています。

この見解をふまえた上で、「多くの人々が必要とする物語を生み出すために創作者ができること」についてのあなた自身の考えを 800 字程度で書いて下さい。

「たとえば、非常に受け入れがたい困難な現実にあふつかったとき、人間はほとんど無意識のうちに自分の心の形に合うようにその現実をいろいろ変形させ、どうにかしてその現実を受け入れようとする。もうそこで一つの物語を作っているわけです。

あるいは現実を記憶していくときでも、ありのままに記憶するわけでは決してなく、やはり自分にとって嬉しいことはうんと膨らませて、悲しいことはうんと小さくしてというふうに、自分の記憶の形に似合うようなものに変えて、現実を物語にして自分のなかに積み重ねていく。そういう意味でいえば、誰でも生きている限りは物語を必要としており、物語に助けられながら、どうにか現実との折り合いをつけているのです。」小川洋子『物語の役割』（筑摩書房、2007 年より）

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

デザイン領域 文芸・ライティングコースでは、物語の解釈や言語表現を駆使した創作に重きをおいた教育を行っています。上記の課題では、本コースを志望する学生が、物語と人間の関係について考察し、人々に必要とされる創作作品とは何かについての自身の見解を具体的に説明できることが求められています。